

力申ニテ、他ノ二項工場閉鎖協会の於テハ優先権ノ點ニテ、^閉閉鎖ノ際ハ順次
 採用スル旨ヲ、並ヘ其ノ他ノ事項ハ全部拒絶スル旨ヲ回答ニテ、九年該團側ニ於
 テハ工場ニ誠意ナシトシ、廢見ヲ打切リタリ、斯クシテ十月三十一日未熟次勞
 資合見種々打衝ニ努メ、其ノ結果交渉ハ調停ニ付、勞資共漸ク解
 決ニ進歩シ、十月八日折衝十三橋^橋敷^敷三^三案^案四^四者^者長^長三^三ハ調停解決ヲ無条件ニ
 一任ニシ、以テ調停協定ヲ(一年該工各案ニ付、百二十五又ノ解、任ヲ承認ス。
 (四) 解雇職工ニ對シ金一圓(三年五月日)ヲ支給、一条件ヲ提議ホシ、此ノ勞資
 双方是等ノ旨ヲ承認、圓滿解決セリ。
 四七 重要事項 (一) 工場ヲ閉鎖セシメ、(二) 工場閉鎖ノ場合採用優先権ヲ与ヘラレシム
 (四) 解雇手当不足等支給、(四) 解散手当トシテ一五ニ付シ、金五十月支給